



春の全国火災予防運動を展開します

3月1日(金)～3月7日(木)

これからの季節は空気が乾燥し風の強い日も多く、火災が起こりやすくなります。火の取り扱いには十分注意し、火災を未然に防ぎましょう。

屋外での火の取り扱いに注意!

春は、草焼き、たき火を原因とした火災が多く発生する季節です。屋外で火を使用する際は、次のことに特に気をつけましょう。

- 空気が乾燥している日や風の強い日には屋外で火を使用しない。
- 周囲に燃えやすいものがある場所では、たき火をしない。
- 火をつけたら完全に消えるまでその場を離れない。
- 消火用具を準備し、確実に消火をする。



住宅防火 いのちを守る 7つのポイント

今年に入り、全国的に住宅火災が多発しています。この機会に防火について考えるとともに、次のことを実践しましょう。

《3つの習慣》

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

《4つの対策》

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。



住宅用火災警報器の点検をしましょう

いざというときに住宅用火災警報器が正常に作動するよう、半年に1回を目安に作動確認をしましょう。また、作動確認をして正常な場合でも、設置から10年を経過したものは交換するようにしましょう。

